

## I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	02 04 02 04	重点政策分類	生きがい	所管部課	健康福祉部社会福祉課	
事務事業名	地域生活支援事業(その他事業)			担当課長名	浅見 圭一	
総合計画分類	C/D	名 称		作成者名	山本 遼	
政策	02	福祉・市民生活		担当歴	平成 29 年度から	
施策	04	障がい者の自立と社会参加		電話(内線)	329	
基本事業	02	自立への支援と社会参加の促進		事業年度	開始年度	H18
					終了(予定)年度	-

H29会計区分	1	一般会計	新規区分	<input type="checkbox"/> 新規	経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策	補助・単独区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助
款	3	民生費	継続区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 投資		<input type="checkbox"/> 単独
項	1	社会福祉費				<input type="checkbox"/> その他		
目	2	障がい者福祉費						

予算科目	目	2	障がい者福祉費	根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載
予算書上の事務事業名	地域生活支援事業				障害者総合支援法・伊達市障がい者計画・伊達市障がい福祉計画
					実施要綱(日常生活用具、移動支援、日中一時支援)

## II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	サービスを必要とする障がい者(児)		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> 市民と協働 <small>(委託・交付先等: )</small>						
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	障がい者等がサービスの提供を受けることにより、社会生活を高め自立の促進を図ることを目的としている。 ※市町村に実施が義務づけられている必須事業と選択事業があり、地域特性や利用者の実情に応じた事業を展開することができる。								
	成果	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
	① 日常生活用具給付等金額	千円	10,553	9,468	8,869	9,747	9,346	9,346	
	② 移動支援事業支給金額	千円	343	535	879	979	1,501	1,501	
	③ 日中一時支援事業給付金額	千円	1,140	1,072	454	270	211	211	
成果指標の考え方・計算根拠等	H29年度利用実績から目標を設定した。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
	施設入所している障がい者数	人	83	80	77	77	77	77	
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	必須事業: 日常生活用具給付等事業・移動支援事業 選択事業: 日中一時支援事業								
	活動実績	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載									
	1 日常生活用具給付等件数	件	903	890	884	843	874	874	
	2 移動支援事業実利用者数	人	4	5	11	15	13	13	
	3 日中一時支援事業実利用者数	人	18	13	7	6	6	6	
活動指標の考え方・計算根拠等	H29年度利用実績から目標を設定した。								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	移動支援事業についてはサービス提供事業所が少ないことから、利用者が十分に利用できない現状がある。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組み事項、設定した目標を具体的に記載								
	移動支援事業の理解を深め、事業者による事業展開の検討を促す。								
	上記の重点的取組み事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
改善点	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度) 既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容							
		<input type="checkbox"/> 投入経費							
		<input type="checkbox"/> 人員の配置							
		<input type="checkbox"/> その他							
	<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度) 改善を検討中(又は実施中)	<input type="checkbox"/> 事業内容	H30年度に移動支援の提供事業者数が従来の3事業所から2事業所に減り、一部利用需要を満たせていないことが現状としてあるため、対象事業者に対して事業参加の検討を促すことで利用拡大を図る。						
		<input type="checkbox"/> 投入経費							
		<input type="checkbox"/> 人員の配置							
		<input checked="" type="checkbox"/> その他							

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	02	04	02	04	重点政策分類	生きがい
事務事業名	地域生活支援事業(その他事業)				CD	04

所管部課	健康福祉部社会福祉課
担当課長名	浅見 圭一
作成者名	山本 遼

### Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
<b>直接事業費 (A)</b> 千円	<b>12,036千円</b>	<b>11,075千円</b>	<b>10,202千円</b>	<b>10,996千円</b>	<b>11,058千円</b>	<b>11,058千円</b>
国・道支出金 千円	8,256千円	7,711千円	7,115千円	7,285千円	6,321千円	6,321千円
地方債 千円						
その他特財 千円						
一般財源 千円	3,780千円	3,364千円	3,087千円	3,711千円	4,737千円	4,737千円
<b>参考人件費 (B)</b> 千円	<b>822千円</b>	<b>873千円</b>	<b>869千円</b>	<b>860千円</b>	<b>851千円</b>	<b>875千円</b>
一般職員 千円	822千円	873千円	869千円	860千円	851千円	875千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
<b>投入経費 C=(A+B)</b> 千円	<b>12,858千円</b>	<b>11,948千円</b>	<b>11,071千円</b>	<b>11,856千円</b>	<b>11,909千円</b>	<b>11,933千円</b>
<b>人件費比率 D=(B/C)</b> %	<b>6.4%</b>	<b>7.3%</b>	<b>7.9%</b>	<b>7.3%</b>	<b>7.1%</b>	<b>7.3%</b>

### Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	<b>目的妥当性</b> 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input checked="" type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称：障害者総合支援法) 障がい者(児)の地域移行や地域生活を支える事業であり、社会生活力を高めて自立の促進を図るためにも事業を実施するのが妥当である。
	<b>有効性①</b> 成果が出ているか？ <input checked="" type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	地域生活の支援を充実させることで、施設から地域生活への移行が促進される。
	<b>有効性②</b> 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい	移動支援の提供事業所を拡充することにより、利用者の需要を満たすことができる。
	<b>効率性</b> <input type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は難しい	制度上、補助率が定められており、経費削減は難しい。
	<b>公平性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ 移動支援事業など一部で需要に応えられず利用が制限されているものの、障がいの状況に応じて必要なサービスを利用できる制度となっている。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
<b>総合一次評価</b> <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	地域生活支援事業は、障がい者(児)が安心して地域で暮らすために必要不可欠な支援策で構成されていることから、今後も継続した実施が必要である。 移動支援事業については、地域における自立生活及び社会参加の促進に繋がることから、事業の拡充を促す必要がある。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	本事業は障がい者が地域で安心して暮らすため、必要不可欠なものであることから、今後も必要に応じて柔軟に事業を実施していく必要があると考える。

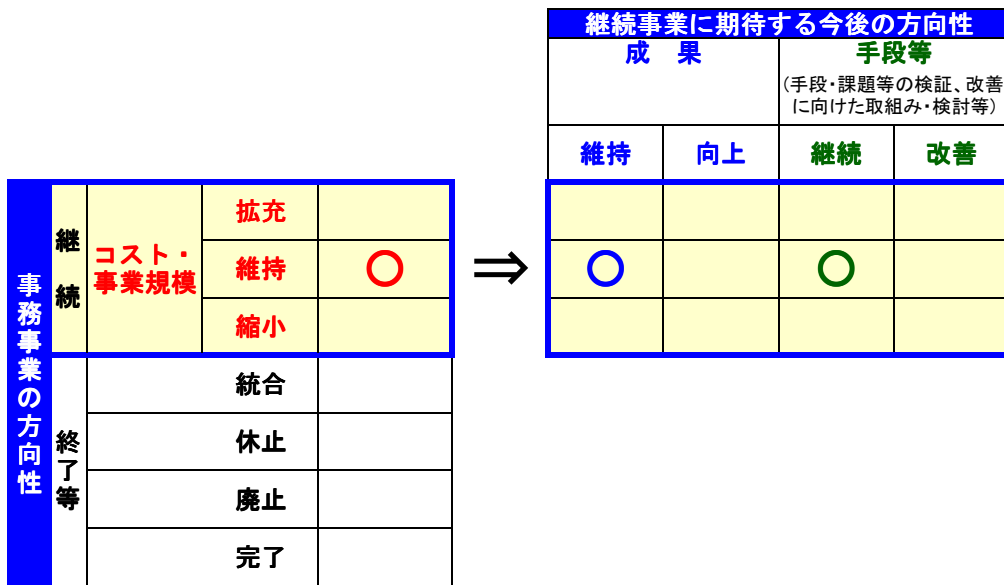
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業	総合計画統括CD	02   04   02   04	重点政策分類	生きがい	所管部課	健康福祉部社会福祉課
事務事業名	地域生活支援事業(その他事業)			事業CD	担当課長名	浅見 圭一
				04	作成者名	山本 遼

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価	
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。			
		大きく向上できる	○		
		向上を期待できる	△		
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。			○
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。			○
	有効性②	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。			△
		評価の凡例	大きく向上できる	○	
			向上を期待できる	△	
効率性	妥当な経費で事業を執行している。			○	
公平性	受益と負担のバランスは適当である。			○	
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。			○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。			○
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合にあっては、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。			△

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

障がい者が安心して日常生活を送るためには必要不可欠なサービスであることから、事業所の理解と協力を得ながら、より良いサービスを提供できるよう継続して事業に取り組まれるよう期待します。